

## 佐藤 琢

## 磨 選手

インディ5000日本人初制覇もすごいですが、何よりもあの荒れたレース展開の中で優勝するのは並大抵のことではないでしょう。強靱なハートの持ち主です。なぜなら、53周目におこったポールシッターだったディクソン選手とハワード選手による大きなクラッシュのほか赤旗を含めて11回ものフルコースコーションが出されたレースでした。そんな多重クラッシュを目の前にして、自分にも同じリスクを背負いながらアクセルを踏まなければならぬ。そんな挑戦に心のゆとり、安心感、信頼のサポートとしてアライが優勝に貢献できたのではないかと思います。

## アライの「かぶり心地」は別次元のところにあります。

アライヘルメットのかぶり心地はインディカーレースをはじめ、F-1からのフィードバック。過酷なF-1では選手に4~5G程度重力がかかってくる。強大なGがかかってもブレずに動かない快適なヘルメットでなくてははいけない。しかしピットの交信もあるため、キツ過ぎてはいけない。相反する厳しい条件があるが、多くの選手はアライの既製品をそのまま被って使用している。アライのフィット感とは別次元にあるのです。そんな、別次元のフィット感を2輪用ヘルメットへフィードバックできるのは国内メーカーでアライだけです。アライヘルメットにしかつくれないかぶり心地を、ぜひとも感じてみてください。

インディ5000制覇！

おめでとう！